

エレクトロニクス社会を支える磁石のはなし ～原料調達から最新磁石動向とその応用まで～

■主催：電子材料事業委員会

■担当部署：電子部品部

■参加者数：94名

概要

電子材料事業委員会は、電子材料に関する情報の収集や調査、研究、関連諸問題への対応を行い、日本の電子材料／部品業界の健全な発展に貢献することを目的として活動しています。

このような取り組みの一環として、毎年セミナーを開催しており、第11回目となる今回は、今日のエレクトロニクス社会を支えるベースマテリアル／デバイスと言っても過言ではない永久磁石にスポットを当て、その原料となるレアアース等の需給状況、そして磁石そのものの最新技術動向、さらには磁石の用途として注目される電動車駆動用標準モータの開発動向について、3名の講師をお招きしご講演いただきました。

JOGMECからは、2010年のレアアース問題を契機に一時高騰した価格レアアース価格が、その後の各国の対応によりどのように変動し、どのような需給状況となっているのかについて、我が国のレアメタル資源の安定供給を担うお立場から現状をご説明いただきました。

日立金属(株)からは、アルニコ、フェライト磁石、希土類磁石という磁石材料の進化の変遷から、現在商業ベースで世界最高性能を有するネオジム磁石の最新技術動向等について磁石トップメーカーのお立場からご説明がありました。

日立オートモティブシステムズ(株)からは、地球環境問題を背景として、自動車分野において車両駆動の電動化へのニーズが高まりつつある中、多様な案件に共通して対応できる独自技術を採用した電動車駆動用標準モータの開発動向等についてお話をいただきました。



プログラム

○「レアアースを中心とした磁石原材料の需給動向」

増田 一夫 氏（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）資源探査部探査第2課）

○「最新の磁石材料の紹介と技術動向について」

森本 仁 氏（日立金属(株) 磁性材料カンパニー企画部 技術グループ）

○「電動車駆動用標準モータの開発」

齋藤 泰行 氏

（日立オートモティブシステムズ(株) パワートレイン&電子事業部 パワートレイン設計本部 EP機器設計部）